

# Weekly コラム

令和6年1月16日

〒541-0055 大阪府中央区船場中央 2-1

船場センタービル 4号館 4階

船場経済倶楽部

Tel 06-6261-8000

(NPO 法人 SKC 企業振興連盟協議会)

Fax 06-6261-6539

人の輪・衆智・繁栄

## 活動方針



当団体は、異なる業種の経営者が相集い、力を合わせ、自らの研鑽と親睦を通じて、斬新な経営感覚と新たな販売促進を創造して、メンバー同士でより健全な事業所とその事業所のイメージアップを図り、地域社会に貢献できる事業所となることを目的とする。

## 「ニアショアリング」って何？ メキシコ経済の新たな追い風

2020年に発生した新型コロナウイルスのパンデミックは、世界のサプライチェーンが極めて脆弱な状態にあることを明らかにしました。生産地と消費地を結ぶサプライチェーンが容易に断絶・停滞し、更にはコンテナ輸送に巨額のコストが要求される時代を迎える中、企業はできる限り生産地を消費地の近くに移転させる動きを活発化させています。こうした動きを「ニアショアリング (nearshoring)」と言います。

「ニアショアリング」の恩恵を受けるとみられる国は、欧州市場だとトルコや北アフリカ、米国市場だとメキシコになると目されています。もと、メキシコは米国との経済的な結びつきが強い国ですが、この「ニアショアリング」の影響で既に企業の設備投資が活発化し始めています。また、メキシコから米国向けの輸出フローも強化されており、経済成長と貿易収支の面で、メキシコ経済は大きな恩恵を受け始めています。

しかも、米中対立の激化がこの流れを更に後押ししています。中国を生産拠点とすることのリスクが顕在化する中、特に電気自動車 (EV) や半導体といった戦略分野で大企業のメキシコ投資が活発化しています。この流れは2023年、そして24年と更に加速する可能性が極めて高い状況になっています。メキシコが中国から米企業の製造拠点としての地位を奪い取るフェーズに突入しています。

メキシコの4～6月期国内総生産 (GDP) は前期比 0.9% 増と、1～3月期の 1.0% 増から伸びが鈍化したものの、7四半期連続でプラス成長を維持しています。高水準の海外からの送金、インフレ圧力の緩和、堅調な労働市場などの影響が指摘されていますが、それと同時に「ニアショアリング」というグローバル経済の構造の恩恵も見え始めています。

メキシコペソ相場の高騰については、高金利環境ばかりが注目されていましたが、郷里送金の金額急増、原油価格の上昇傾向、そして今回紹介した「ニアショアリング」と、注目すべき材料が着実に増えていきます。

まだ少し先の話になりますが、メキシコ中央銀行は徐々に利下げを行う見通しです。このため、高金利通貨の魅力が徐々に低下していくことは避けられない見通しですが、その際に「ニアショアリング」はその穴埋めを行う役割が期待されています。



記事の内容に関するお問い合わせは事務局までご連絡ください。

ウィークリーはメールでの配信も行っております。お手数ですが、「メール希望」・「配信停止希望」と件名にご入力の上、

skc-soudan@skc.ne.jp まで空メールをご送信ください。また、FAX 不要の際は、その旨をお電話にてお申しつけください。